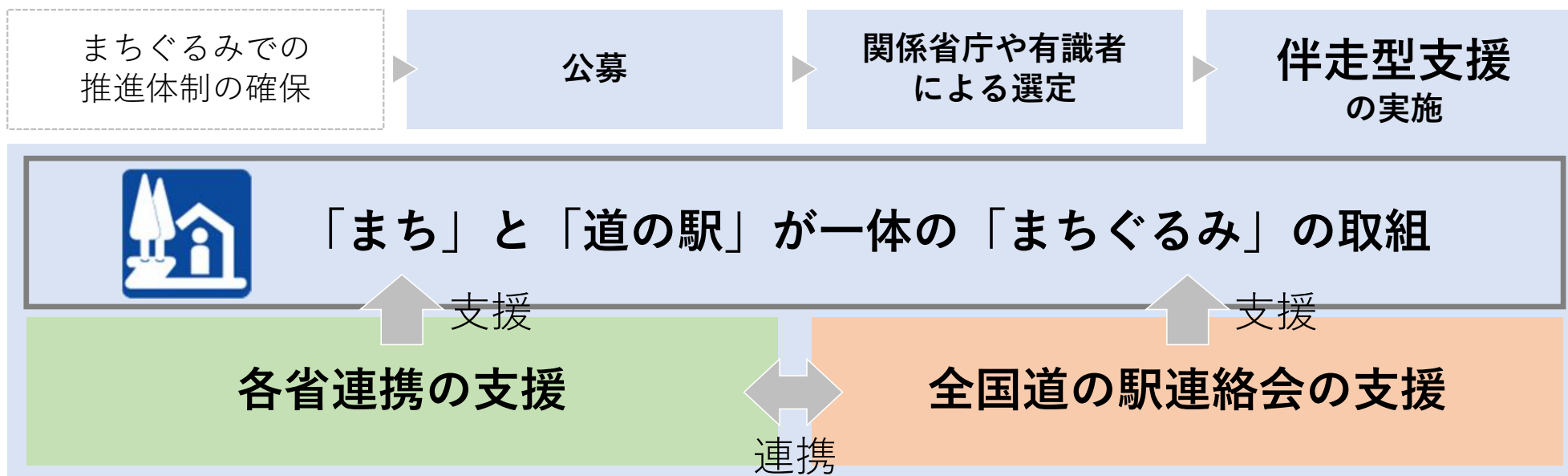


「道の駅」第3ステージ応援パッケージの取組

国土交通省 道路局
企画課 評価室
令和8年3月

- 第3ステージのポイントである「まちぐるみの戦略的な取組」の実現に向けて取り組む自治体と「道の駅」に対し、関係省庁一丸での支援を推進するための制度を構築。



【支援内容のイメージ】

予算

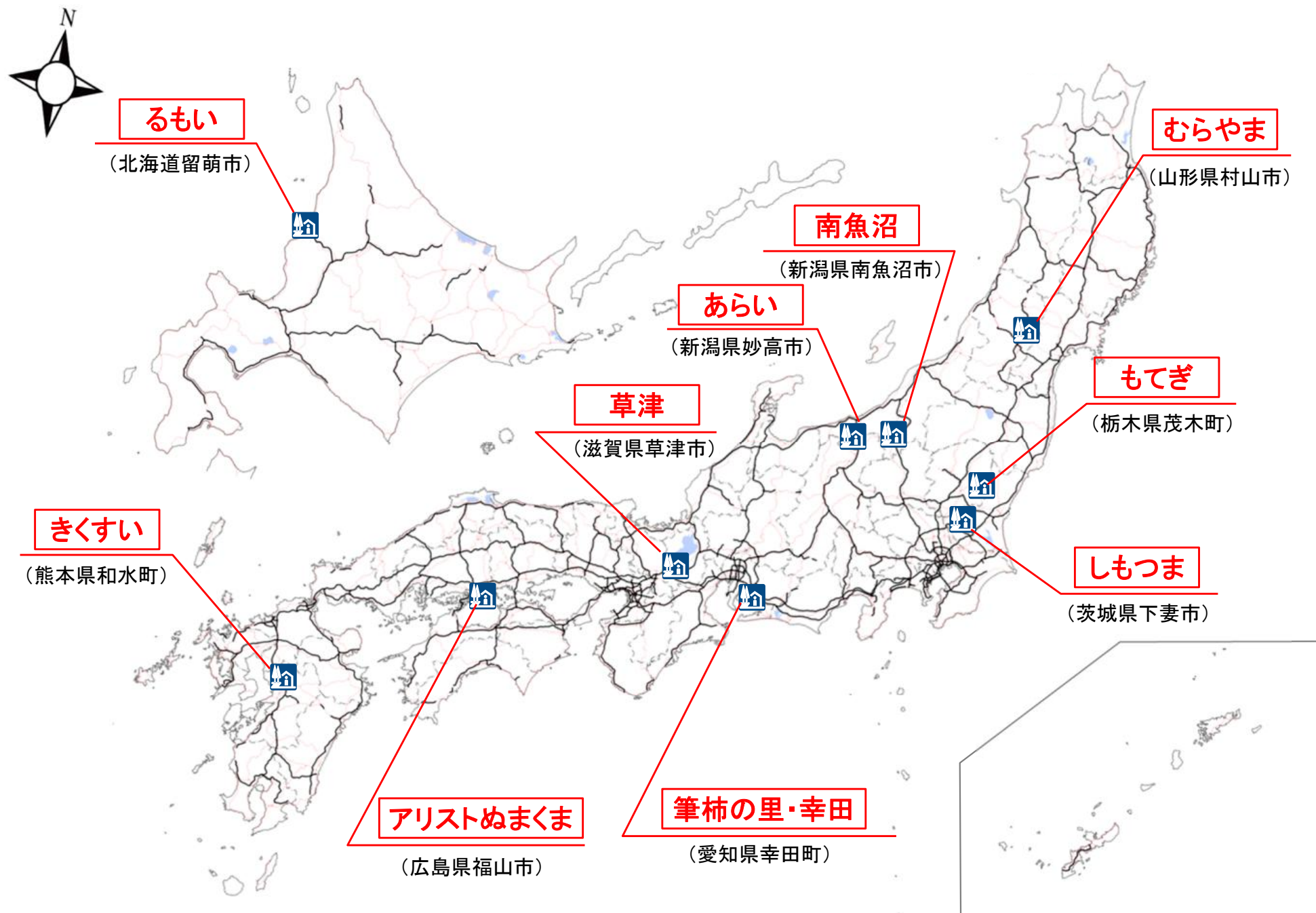
関係省庁が連携した重点的な予算配分

計画策定

全国道の駅連絡会によるアドバイザー派遣

運用

柔軟な施設の配置や活用



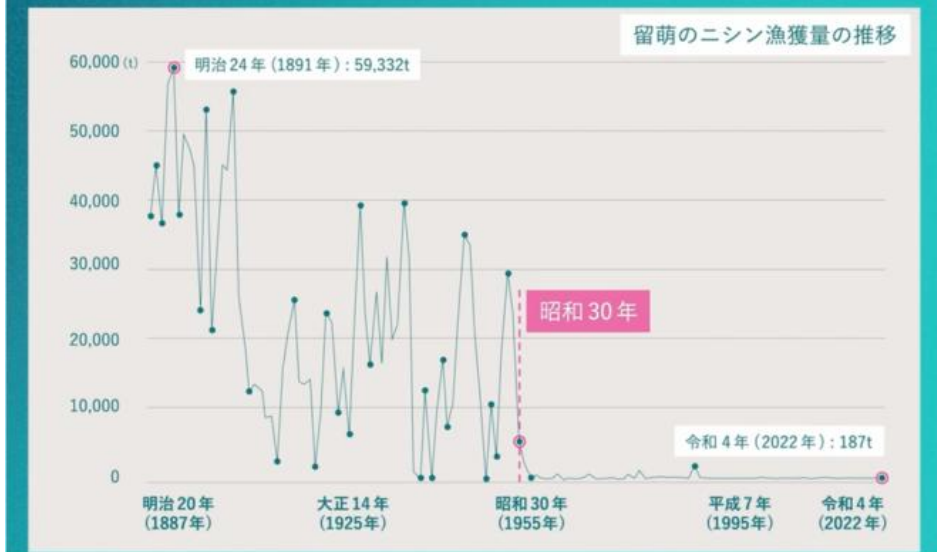
- 道の駅を「新時代の結節点とまちづくりの中心」に位置付け、アウトドア・アクティビティ拠点の整備を進めるとともに、周辺のまちづくりと連携した交流機能のあり方を検討中。



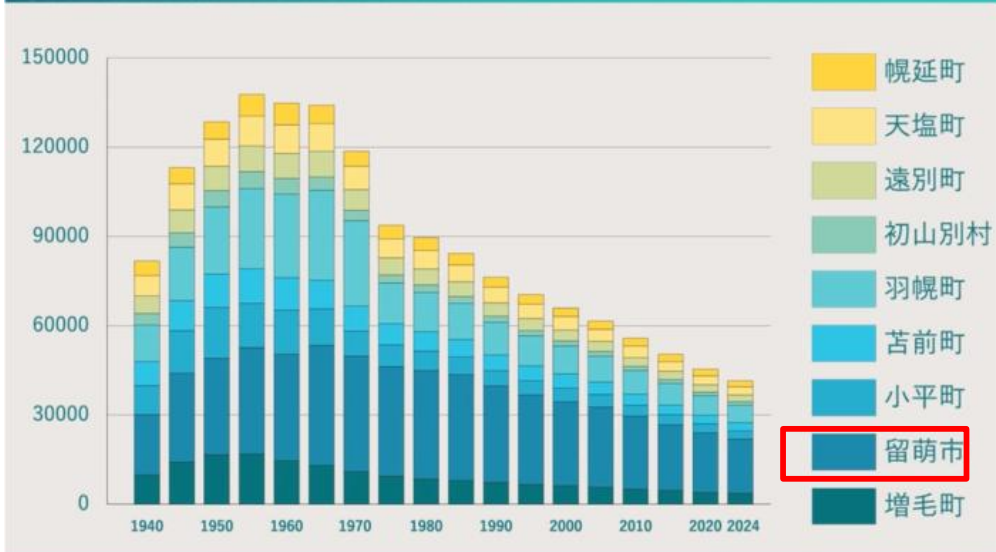
アウトドア・アクティビティ拠点施設: 令和8年3月 本体工事完了予定
新交流複合施設: 基本計画検討中

100年に一度の大転換期

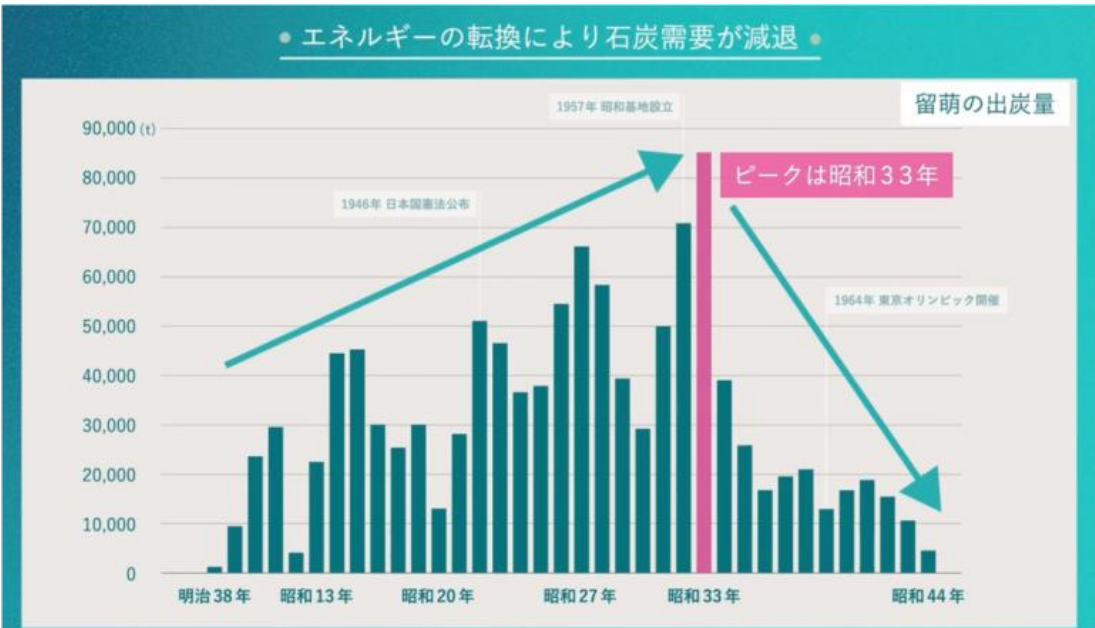
● 昭和30年のニシン凶漁を境に群来がほぼ皆無に ●



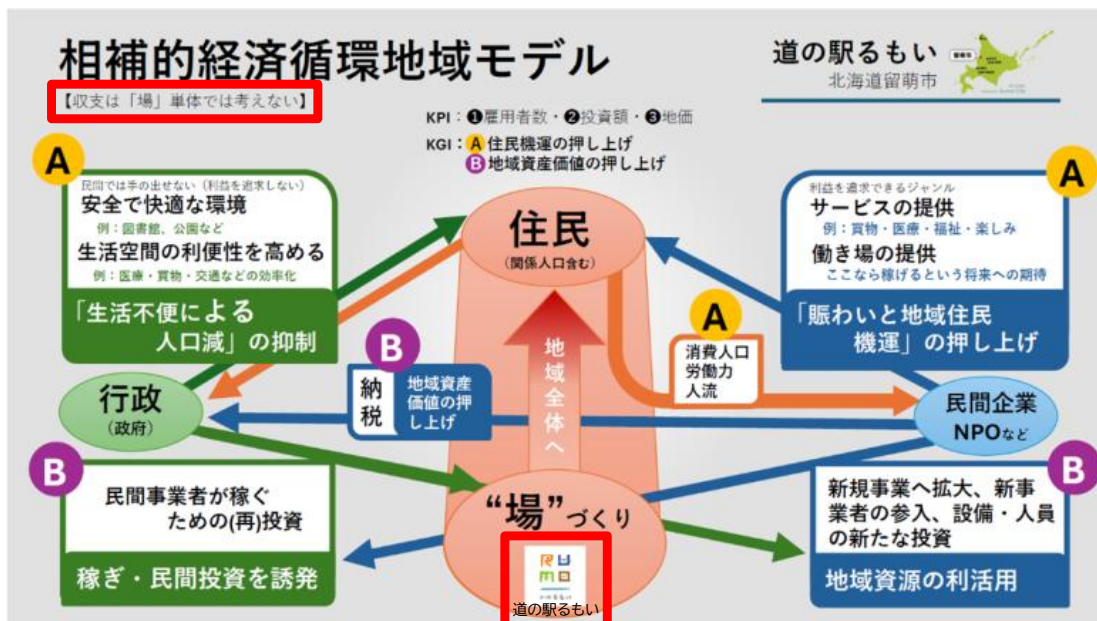
● 産業の衰退、鉄道の廃線などによる人口減少 ●



● エネルギーの転換により石炭需要が減退 ●



○ 道の駅単体で考えず、行政・民間企業・住民と相補的に繋がることを目指す。



出典: 第13回全国「道の駅」シンポジウム道の駅「るもい」佐藤駅長資料

2025年度主な支援内容

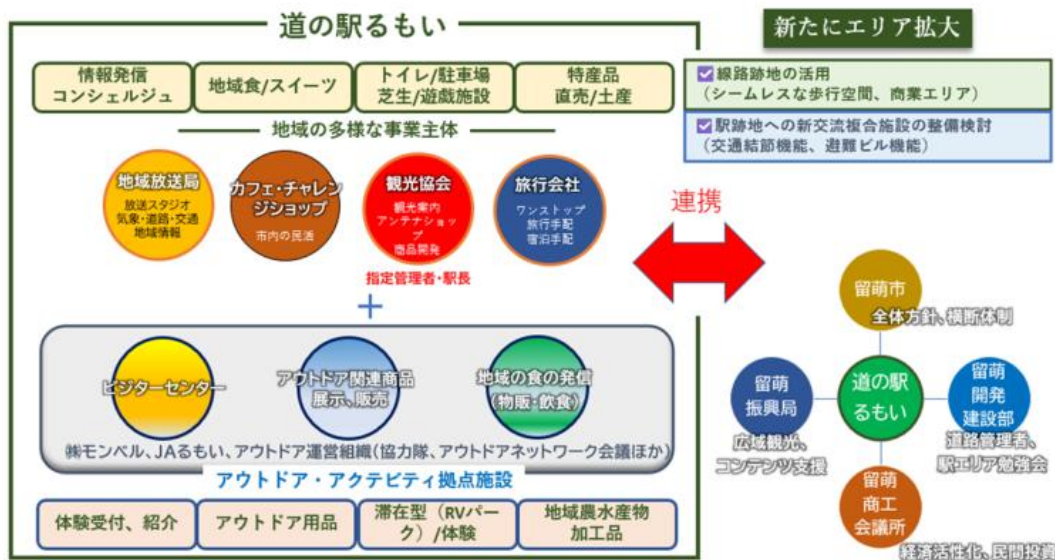
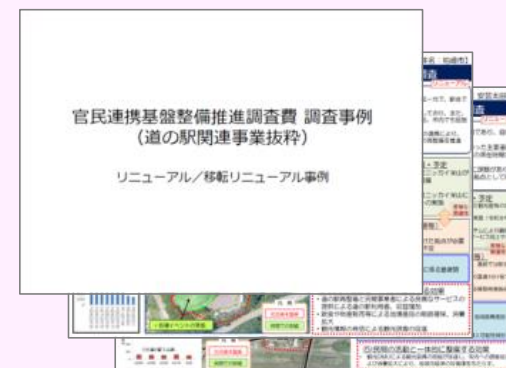
■アドバイザーの派遣 (北海学園大学 工学部 鈴木教授)

＜主な内容＞
 ・アウトドア観光拠点の推進、新交流複合施設との一体的なまちづくりの推進等を実現するためのアドバイス、参考事例の提供等を実施



■制度活用の事例紹介

・官民連携基盤整備推進調査費の過去の採択事例(道の駅関連)を紹介



<まちの目指すべき姿>

- 「次の世代に引き継ぎ・受け継がれる魅力あるまち」の実現に向けて、稼げる地域・稼げる産業づくり、地域資源の活用、地域に根ざした人材の活躍、郷土愛の醸成を目指す

<道の駅の役割>

- 市の「ゲートウェイ」として戦略的に来訪者を獲得し、「ヒト・コト・モノ」の発信、「交流拠点」となる市民サービス提供を実施

2025年度主な支援内容

■ 企画立案・基本設計に関する会議への参加・助言

<主な内容>

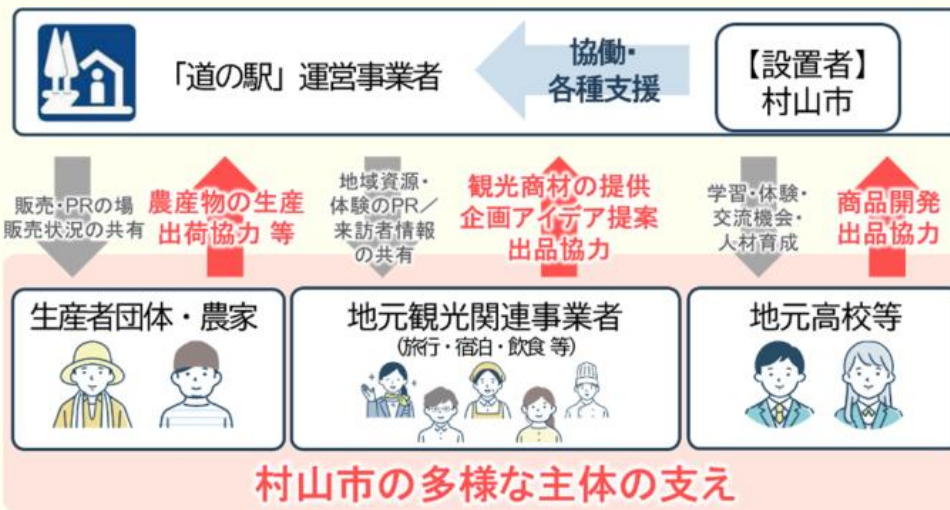
- ・支援可能な補助制度の助言や実施設計に向けた技術的助言を実施

■ 制度活用の事例紹介

- ・地域未来交付金（旧・第2世代交付金）の過去の採択事例（道の駅関連）やポイントを紹介

CONCEPT
— コンセプト —

とまる、やすらぐ。
めぐる。
みつける。



- 道の駅第3ステージの1つの形として、「茂木モデル」を構築中。リニューアル工事の中で具体化していく。

「茂木モデル」

まちぐるみで再定義したまちのコンセプトに基づいて、道の駅をまちづくりの拠点とし、道の駅とまちのつながりを可視化する取組

まちぐるみで再定義した茂木町のコンセプト

「しあわせの、
自給自足。」

- ・地域の人々の手で
- ・地域に存在するものを使って
- ・道の駅と町内外とのつながりを大事に
- ・まじめに、丁寧に、価値を創り出していく

道の駅をまちづくりの拠点にする仕組み

- 道の駅に「もてぎルーム」を設置し、コンセプトを具体化
- 地域の施設を道の駅内・付近に設置
(移住相談窓口、観光案内所、役場職員の常駐 等)

道の駅とまちのつながりを可視化する仕組み

- (仮)もてぎ コンセプトリンク
 - ・ コンセプトを体現した「もてぎルーム」と、コンセプトに沿った道の駅内外の取組(コアユニット)が、一体的であることを表現する仕組み

【道の駅とまちのつながりを可視化する仕組み】

- コンセプトを体現した「もてぎルーム」と、コンセプトに沿った道の駅内外の取組(コアユニット)が、一体的であることを表現する仕組みとして、「(仮)もてぎ コンセプトリンク」を構築中。

【(仮)もてぎ コンセプトリンクの概要】

道の駅「もてぎルーム」のコンセプト

もてぎの歴史
茂木を襲った2つの危機

道の駅の誕生

しあわせの、自給自足。

道の駅内の「コアユニット」

売り場等に、ロゴマークに番号をつけたサインとキービジュアルを、回遊を促すとともに、場面ごとにもてぎらしいメッセージと情報を打ち出す。

売り場にもロゴマークとキーカラーを用いたPOPを用意。季節や商品に合わせた手書きスペースも。

もてぎと食

道の駅もてぎの ゆず塩ら〜めん

もてぎ産手搾りゆず果汁、ゆず果皮を使用!!
途中まで食べ、ゆず酢を加えるとガラッと
味が変わります!!

道の駅もてぎ
MOTEGI NO SEKI HOTEL

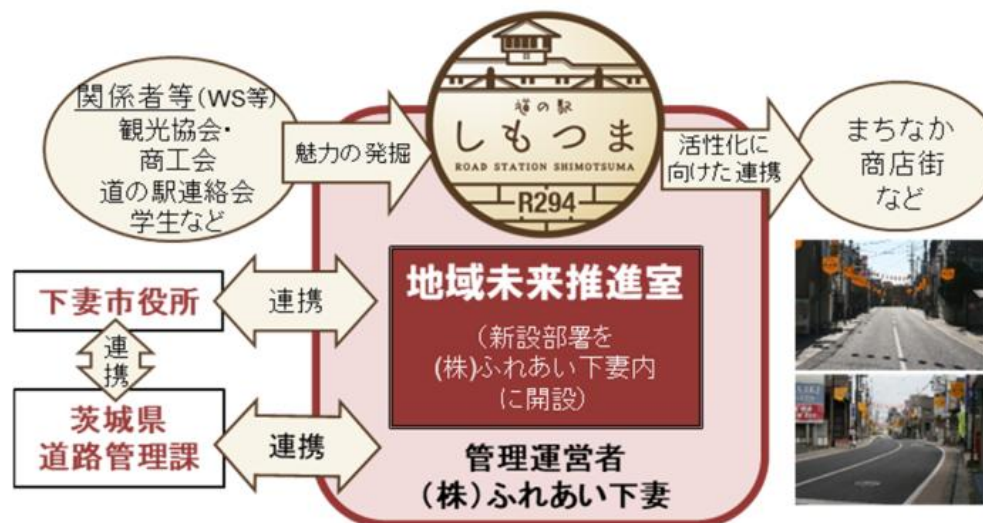
道の駅 象徴的なアイコン



道の駅外の「コアユニット」



- 第3ステージに向けた新たな取組として、株式会社ふれあい下妻(第3セクター)に「地域未来推進室」を新設。

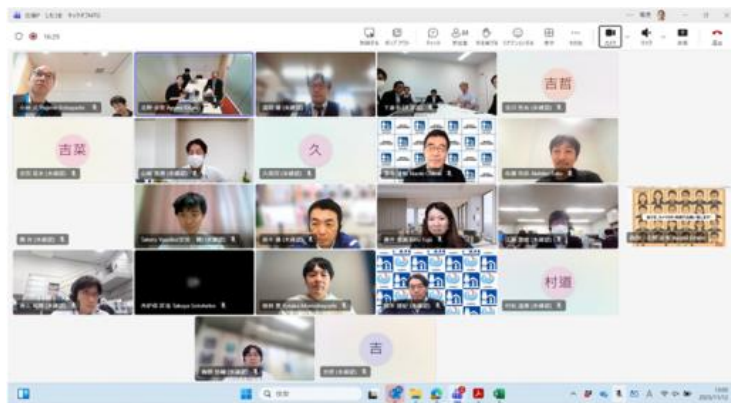


『地域未来推進室』とは…

- ・地域の情報の発信基地
 - ⇒ 地域のイベントや観光等に関する情報を発信し、観光人口や交流人口の増加につなげていく
- ・下妻を知ってもらうための情報発信基地
- ・株式会社ふれあい下妻の『地域商社』化を**実現**！
 - ⇒ 地域資源(地場産品、特産品)の販売促進
 - ・地元商店の商品を道の駅で紹介・販売することで、道の駅から地域へ人の流れをつくっていく



- ヒアリング、ワークショップ等を通じて、地域価値の再定義とまち全体のコンセプトの検討を実施中。



市長への提案



ヒアリング、ワークショップ

まちのコンセプト

道の駅しもつまを
戦略的に活用するとすると

地域外の人との交流が生まれ
下妻の良さを再発見する場所に
自分のまちを誇りに思い
ずっと暮らしたいと思える場所に
そして地域外の人や企業が
参画したいと感じる場所に

下妻愛を広めるための活動が
活性化するような拠点に
(=まちの課題を解決)

概念的に課題を解決する道の駅
コンセプトを体現し

まちの課題



まちの魅力

豊かな自然/穏やかな天候/農作物など自然の恵み

×

すぐそばにある都会でなんでも揃う

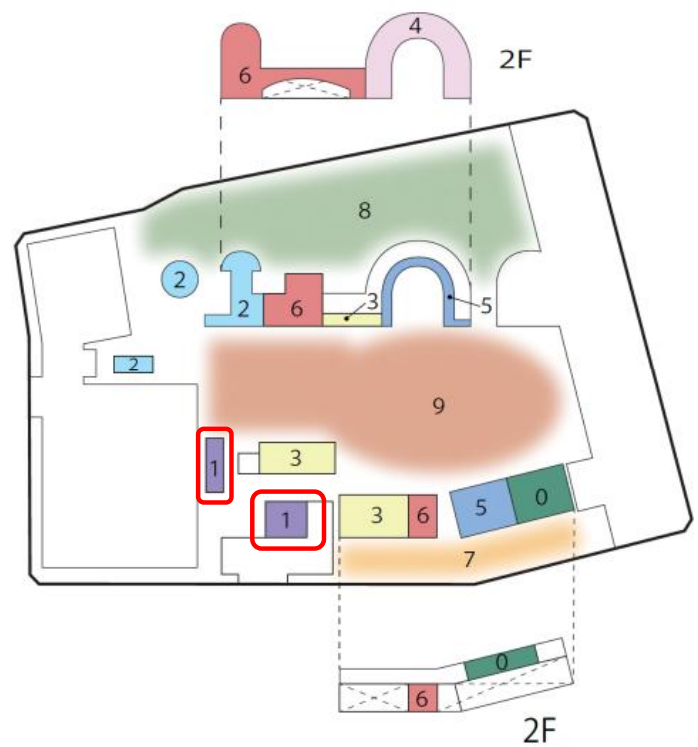
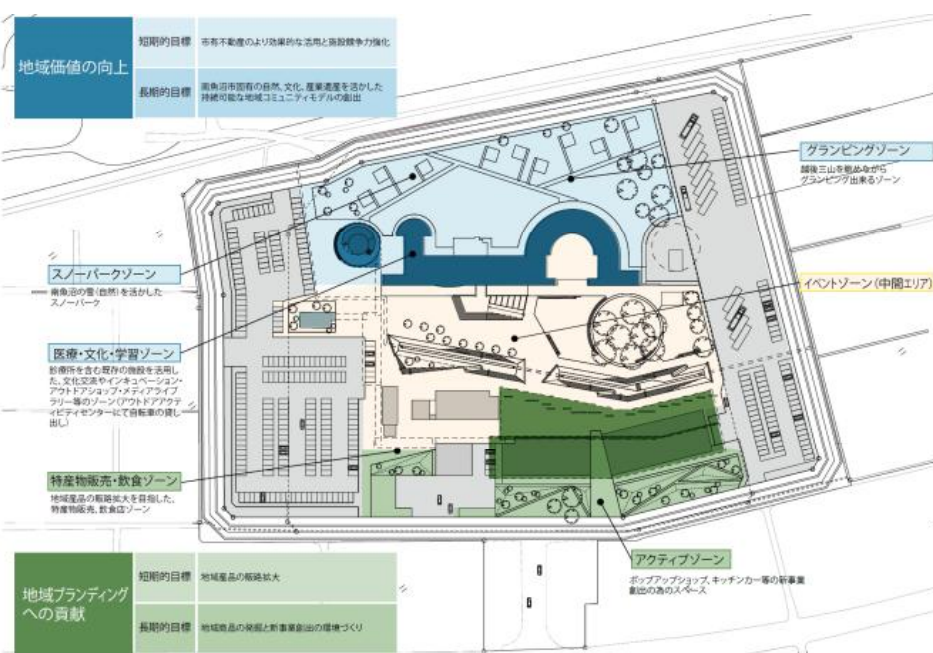
- 2026年1月に基本設計概要書をとりとまとめ・公表。
- 雪室・稲作等、南魚沼の文化を発信・体感できる交流拠点とすべく検討が進んでいる。

「雪室」と「米作り」体験施設、雪室サテライトLAB



南魚沼にまつわる特徴的な9つの領域

- 1: 雪室/稲作体験領域
- 2: 健康促進領域
- 3: ショッピング領域
- 4: 文化体験領域
- 5: グルメ領域
- 6: 子育て・学習領域
- 7: 里地散策領域
- 8: アウトドア体験領域
- 9: イベント活動領域
- 0: 防災



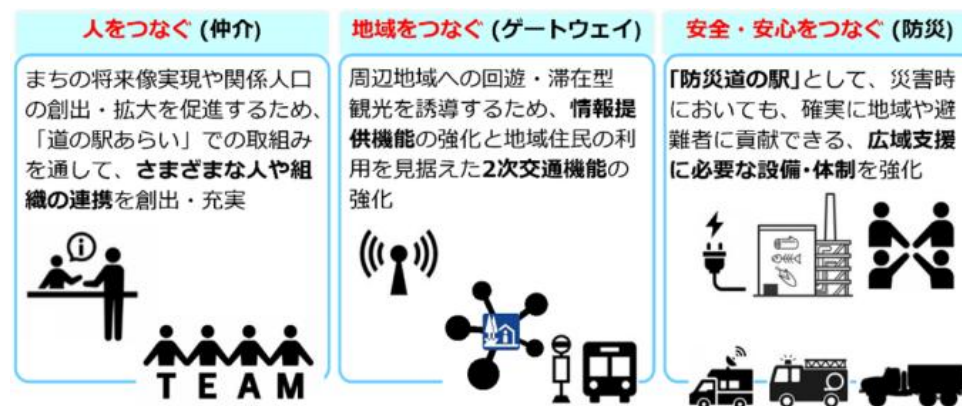
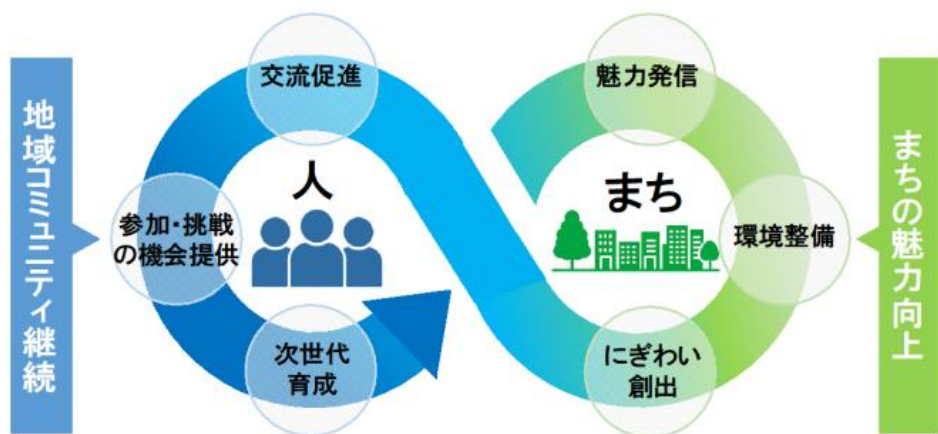
<再整備によって目指すもの>

“みんなのチカラ”と“まちの魅力”の好循環

- 「道の駅あらい」のリニューアルで「まち」「道の駅」が共に目指すのは、**まちの魅力が人を呼び、人のもつチカラがまちを元気にして、さらなる魅力的なまちへ成長する好循環の創出**
- リニューアルを通じた多くの挑戦に、「誰もが参加可能」で、「みんなのチカラをつなぎ、大きなチカラに仕立て」ていき、「人とまちの魅力をつなぐ機会を提供」するための取組みを推進

地域と共に利益を最大化し、収益・元気を地域に還元する循環装置

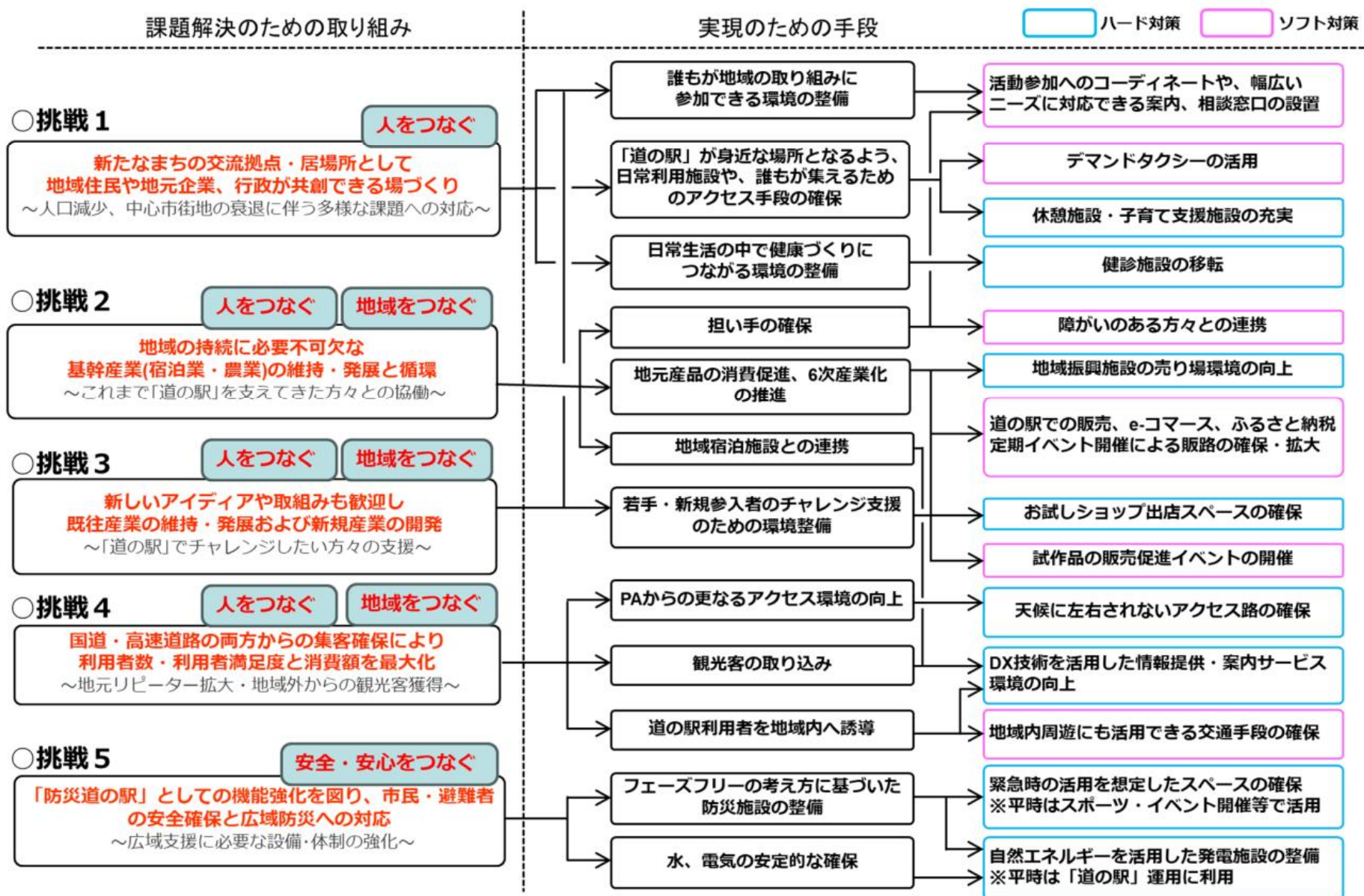
- 共通コンセプト実現に向けた「道の駅あらい」の役割は、**さまざまな人や組織とつながりながら、「まち」を成長させる大きな歯車**として、「地域と共に生み出す利益を最大化し、得られる収益や元気を地域に還元する循環装置」となること
- そのため、「人をつなぐ(仲介)」、「地域をつなぐ(ゲートウェイ)」、「安全・安心をつなぐ(防災)」ための取組みを実施



妙高市が抱える課題を「道の駅あらい」のリニューアルを通じて、「まちぐるみで挑戦」

<コンセプト実現のための手段>

ここでは、まちぐるみで挑戦する、道の駅「あらい」の再整備のコンセプト実現のための手段について、以下に示します。
 なお、取り組みの詳細は、関係者との調整に伴い、変更する場合があります。



人をつなぐ

地域連携機能：地域ならではの特産品や食事、交流施設を通じて、人と人、地域と来訪者をつなぎ、誰もが地域の魅力を体感できる、にぎわいのある施設を整備

情報提供機能：移住・定住のきっかけとなる、地域活動への相談など、幅広い情報提供ニーズに対応できる施設を整備

地域をつなぐ

交通連携機能：道路利用者が様々な情報を得ることができ、誰もが、ゆっくりと休憩できる施設を整備

安全・安心をつなぐ

防災機能：広域防災拠点としての活用を見据えた施設を整備

● 情報提供・相談コーナー

【整備方針】

- ・道路利用者が道路状況、観光案内、災害情報など、必要な情報をいつでも取得できるよう、**24時間対応の情報提供環境**の整備を検討します。
- ・まちの玄関口としての魅力発信や周辺地域の周遊促進を目的に、旅行商品や宿泊情報をワンストップで案内する**総合インフォメーション「コンシェルジュ ミヨウコーさん」**の設置を検討します。
- ・同施設内には、**移住・定住の相談窓口**を検討するとともに、地域イベントや活動への参加機会の提供を通じて、利用者と地域とのつながりを支援します。
- ・情報提供施設は、通行量の多い分かりやすい場所に配置し、**大型デジタルサイネージやチラシ棚、座って情報閲覧できるスペース**の整備を検討します。
- ・利用者自身の端末でも情報収集ができるよう、**無線LAN環境**の整備を検討します。
- ・外国人観光客への情報提供は、**AI技術を活用した案内システム**を導入し、多言語対応できる体制の整備を検討します。



人をつなぐ

地域をつなぐ

安全・安心をつなぐ

● 地域特産品 体験施設

【整備方針】

- ・道の駅を訪れた際に目を引く、地域の特色を象徴する**日本酒醸造のディスプレイ施設**を整備する等、来訪者の記憶に残る空間づくりについて検討します。
- ・商品の魅力を実感できるよう、**試飲コーナーやお試しブレンド体験**など、楽しみながら商品に触れられる体験スペースの設置を検討します。



人をつなぐ

地域をつなぐ

安全・安心をつなぐ

● 健診施設 (民間)

【整備方針】

- ・健診施設の健診環境の充実を図るため、**既存の健診施設を「道の駅」の近くに誘致**することを検討します。
- ・健診施設が日常生活の活動範囲内にあることで、気軽に立ち寄れる環境となり、心理的・時間的負担が軽減されることで、**健診の受診率向上**を目指します。
- ・多様な健診メニューを観光や滞在型体験と結び付け、**健康づくりと地域の魅力を同時に体験できる新たなサービスの提供**を検討します。

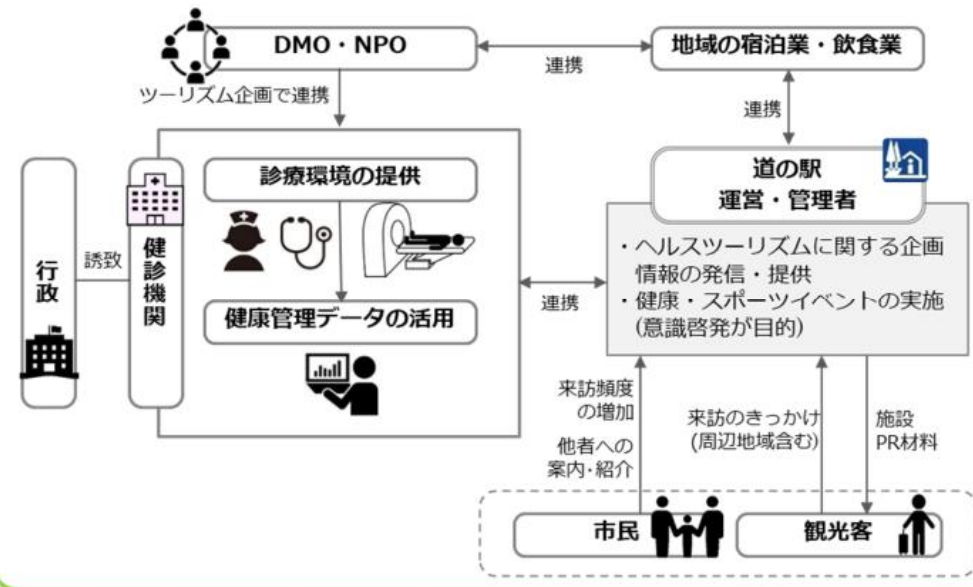
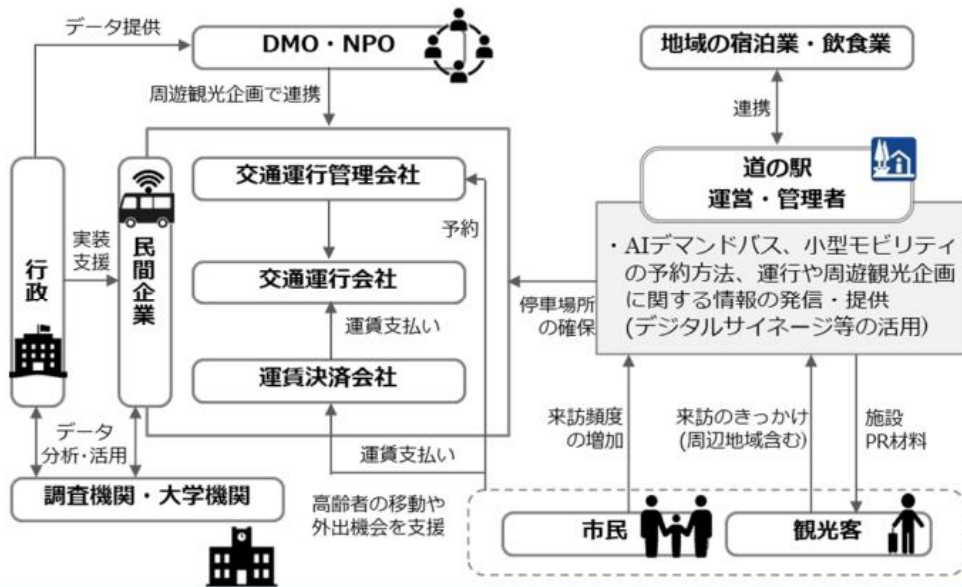
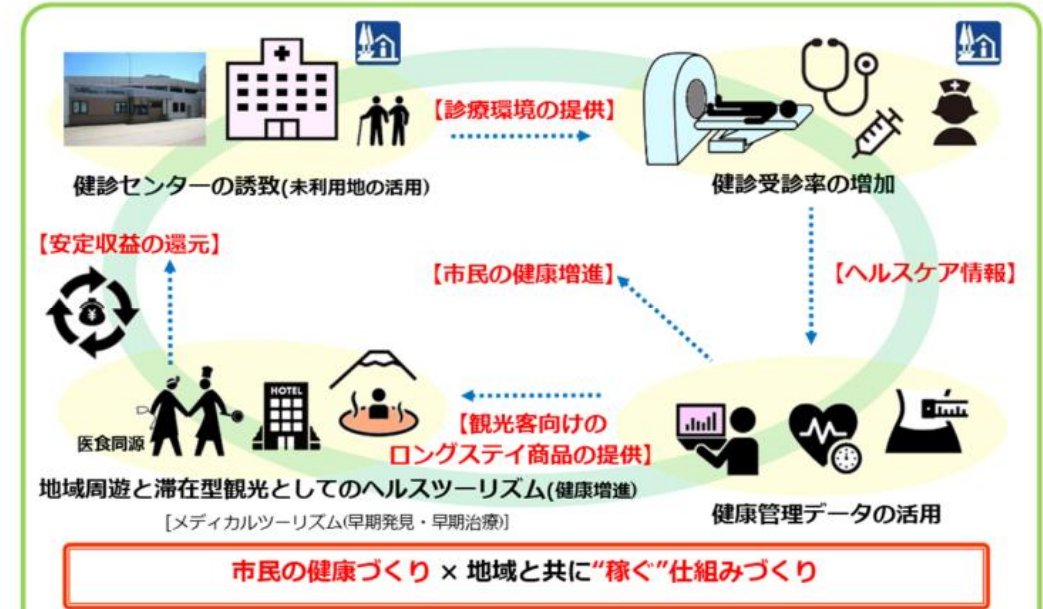


人をつなぐ

地域をつなぐ

安全・安心をつなぐ

<地域還元・循環イメージ>

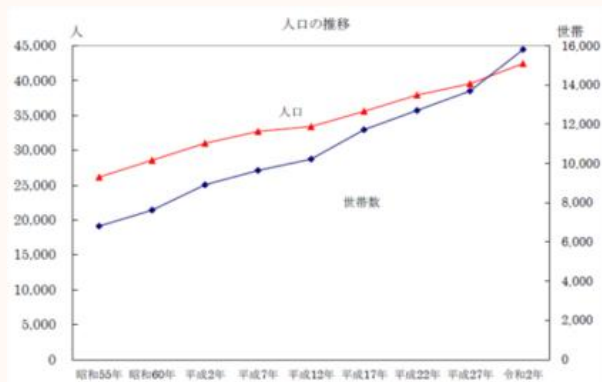


<まちの目指すべき姿>

○時代に応じた産業政策や子育て施策などにより人口が増加見込みである一方、豊かな自然や特産物、観光資源の発信など十分とはいえず、今後、地域外への魅力発信等を通じて、地域外からの来訪増を目指す

<道の駅の役割>

○町内初の観光案内所の設置や訪問客の滞在環境整備、全国シェア90%を誇る「筆柿」のPRや高付加価値化に取り組むことで、観光振興や地域経済循環を生み出す拠点として機能



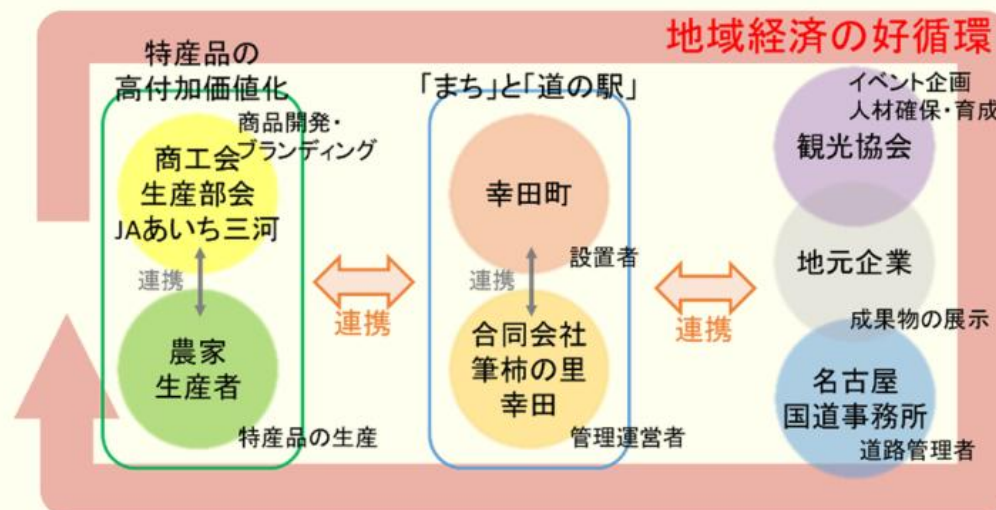
人口・世帯数ともに年々増加傾向



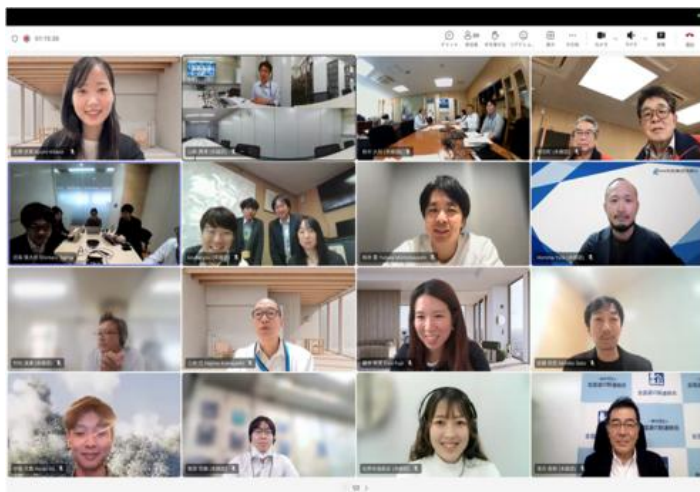
全国シェア90%を誇る筆柿



名豊道路の全線開通を見据え道の駅周辺で企業用地の造成も進む



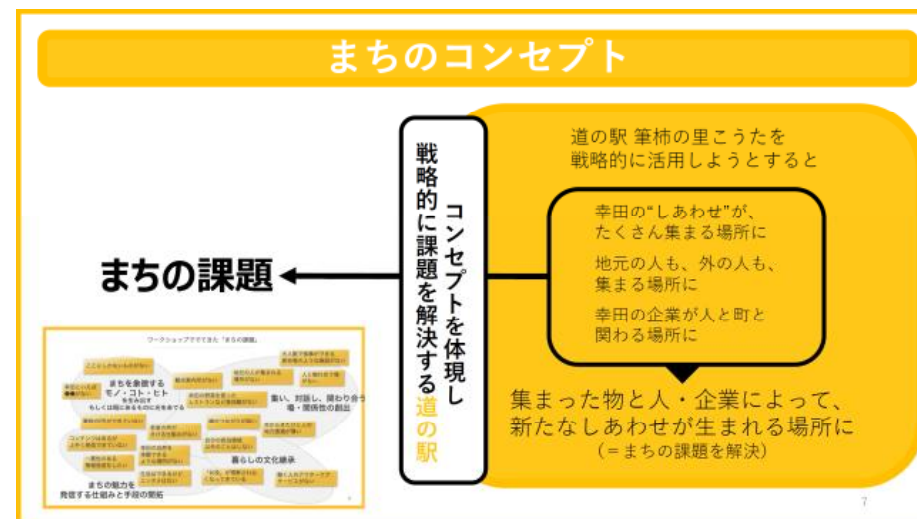
○ ヒアリング、ワークショップ等を通じて、地域価値の再定義とまち全体のコンセプトの検討を実施中。



町長への提案



ヒアリング、ワークショップ

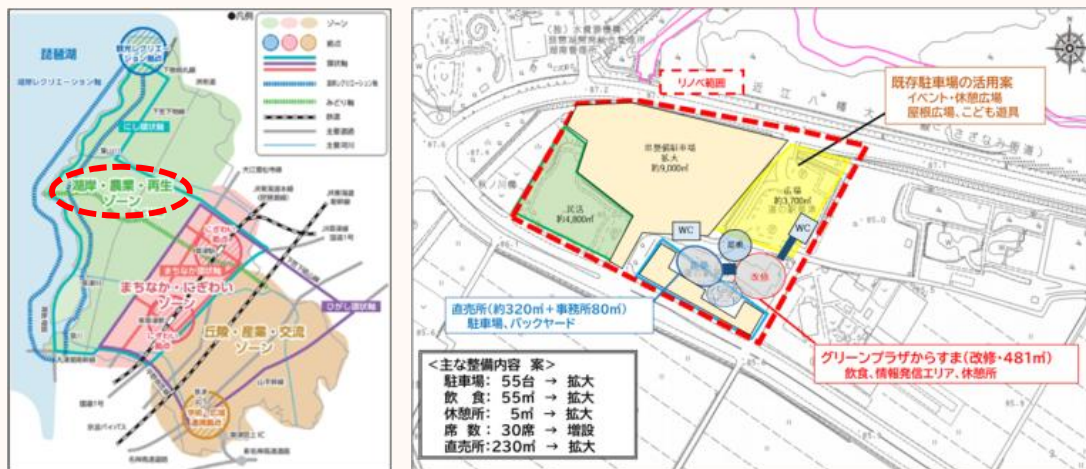


〈まちの目指すべき姿〉

○将来にわたり持続可能なまちであり続けるため、都市機能と自然環境が調和する、各地区の特性を活かした土地利用を推進

〈道の駅役割〉

○「湖岸・農業・再生ゾーン」の観光レクリエーション拠点として、恵まれた自然や観光施設の集積などの地域特性を最大限活かし、憩いや安らぎを提供するとともに、幅広い人々の交流を促進



市・運営事業者

- ・地域振興施設のリニューアル
- ・マーケットインに基づく販売戦略
- ・生産者が出荷しやすい体制づくり
- ・イベントや収穫体験の実施
- ・情報発信機能の充実

県・JA

- ・駐車場の拡大
- ・県道とのアクセス強化
- ・防災機能の強化
- ・観光、ピワイチ機能の強化
- ・農業振興の支援



教育・研究機関

- ・湖南農業高校とのイベント等
- ・立命館大学との連携

地域住民・周辺施設

- ・地域食材等の供給の充実
- ・農林漁業者との連携
- ・琵琶湖博物館・水生植物公園みずの森、ロックベイガーデン等との連携

2025年度主な支援内容

■アドバイザーの派遣

(道の駅「丹波おばあちゃんの里」 野原駅長)

〈主な内容〉

- ・施設配置計画案の課題等の確認と改善に向けた助言・提案を実施

■ワークショップにおける先進事例の紹介と助言

〈主な内容〉

- ・同規模の施設の機能改善事例等を紹介
- ・滞在や回遊性などを意識した施設配置計画案を助言



■管理運営手法の変更事例の紹介

- ・市直営から指定管理者制度に切り替えた事例を紹介

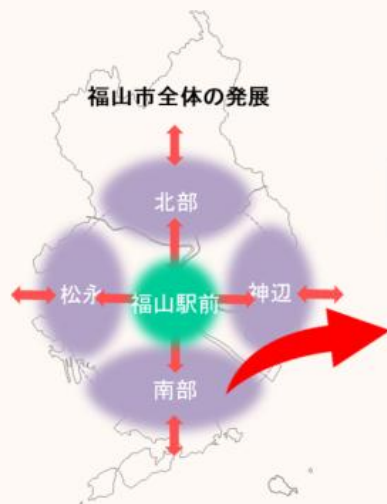
項目	内容	備考
1. 指定管理者制度の導入	草津市が道の駅「草津」の管理運営を民間企業に委託する。導入の経緯、メリット、デメリットを説明する。	
2. 指定管理者の選定	公募型競争入札方式による選定。応募者数、入札状況、選定理由を説明する。	
3. 指定管理料の算定	指定管理料の算定方法、算定額、算定根拠を説明する。	
4. 指定管理料の徴収	指定管理料の徴収方法、徴収額、徴収根拠を説明する。	
5. 指定管理料の使途	指定管理料の使途、使途割合、使途根拠を説明する。	
6. 指定管理料の滞り	指定管理料の滞り、滞り原因、滞り解消方法を説明する。	
7. 指定管理料の滞り防止	指定管理料の滞り防止策、滞り防止策の効果を説明する。	
8. 指定管理料の滞り防止の取り組み	指定管理料の滞り防止の取り組み、取り組みの効果を説明する。	
9. 指定管理料の滞り防止の成果	指定管理料の滞り防止の成果、成果の効果を説明する。	
10. 指定管理料の滞り防止の課題	指定管理料の滞り防止の課題、課題の解決方法を説明する。	

<まちの目指すべき姿>

- 福山駅周辺の再生から地域の魅力創出へ軸足を移し、南部エリア（鞆の浦、沼隈等）の観光振興を強化

<道の駅の役割>

- 南部エリアの「地域振興」と「観光振興」の拠点となり、国内外の人々に地域の魅力を伝えるとともに、地域経済の活性化に寄与



2025年度主な支援内容

■アドバイザーの派遣

(道の駅「丹波おばあちゃんの里」 野原駅長)
(九州・沖縄「道の駅」連絡会事務局 宮原次長)

<主な内容>

- ・防災拠点の先進事例や「ロッカー型自販機」等の最新の取組紹介をはじめ、市の再整備基本計画の検討に資する助言を実施

■再整備基本計画検討会議への参加・助言

<主な内容>

- ・第3ステージのあるべき姿やリニューアルに際して国ができる支援等を紹介



■制度活用の事例紹介

- ・地域未来交付金（旧第2世代交付金）の過去の採択事例（道の駅関連）を紹介

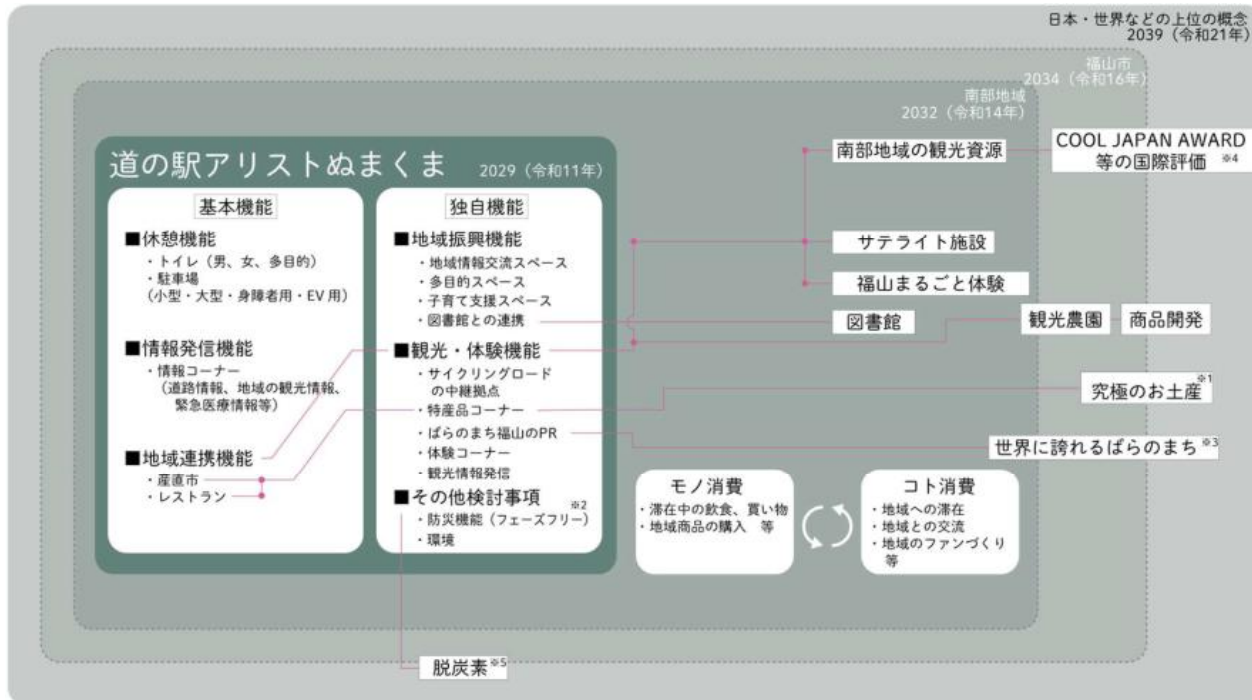
年度	採択事例	採択額	内容
2021年度	道の駅アリストぬまくま 地域未来交付金	100万円	道の駅アリストぬまくまの再整備事業
2022年度	道の駅アリストぬまくま 地域未来交付金	100万円	道の駅アリストぬまくまの再整備事業
2023年度	道の駅アリストぬまくま 地域未来交付金	100万円	道の駅アリストぬまくまの再整備事業
2024年度	道の駅アリストぬまくま 地域未来交付金	100万円	道の駅アリストぬまくまの再整備事業



- 2026年1月に再整備基本計画(素案)をとりまとめ・公表。
- 「タイケン、ハッケン、極上ぬまくま ~ひと(生産者・消費者)・もの(産業)・こと(体験)を育む福山市の南の玄関口~」をコンセプトに掲げ、まちぐるみで目指す姿の実現に向けて検討が進んでいる。

今後の展開イメージ

- コンセプト | タイケン、ハッケン、極上ぬまくま
~ひと(生産者・消費者)・もの(産業)・こと(体験)を育む福山市の南の玄関口~
- めざす姿
 - ① 地域住民が主体となる「交流・活動拠点」
 - ② 「地域の魅力」を最大限に引き出す拠点
 - ③ 持続可能な「地域経済」の一助となる施設
 - ④ 環境に配慮した「安心・快適」な施設



施設整備計画

<まちの目指すべき姿>

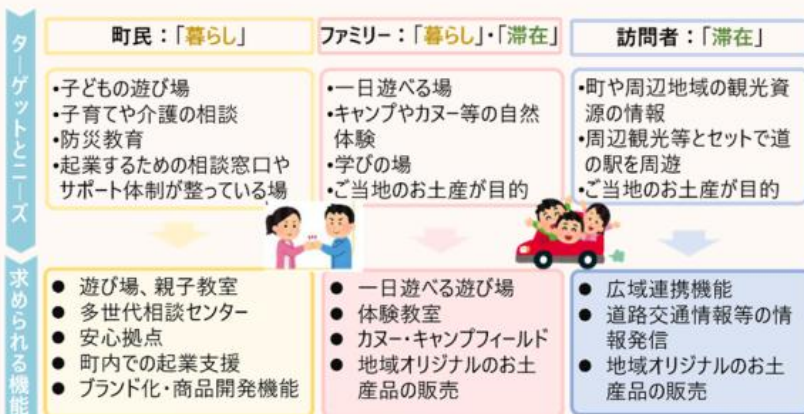
- 「笑顔輝き魅力あふれる和水町」の実現に向け、既存公共機能を集約し、暮らしやすさを向上させるとともに、町の関係人口の増加を図る

<道の駅の役割>

- 町の暮らしを支え、滞在の魅力を高めるために、人と人、地域と地域をつなぐ役割を担う



「暮らし」と「滞在」機能の向上が必要

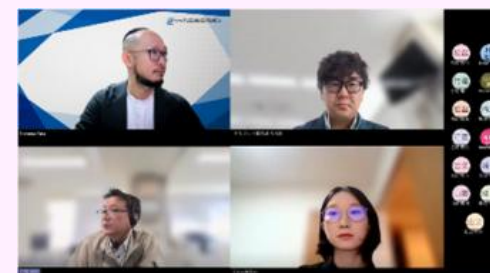


2025年度主な支援内容

■再整備方針の検討スケジュール等に対する助言

<主な内容>

- ・基本構想策定からハード整備に対する補助活用までのスケジュールを助言
- ・必要に応じて、調査検討に係る補助を活用することを提案



■関連事業を踏まえた次年度以降の進め方に対する助言

<主な内容>

- ・町で検討中の「かわまづくり」や「菊水口マン館ブランディング事業」など、道の駅再整備に関連する事業計画の動きを踏まえ、次年度以降の進め方を助言

- 国土交通省をはじめ、内閣府、観光庁、農林水産省等においても、補助事業・交付金事業の活用などの相談対応や情報提供等を通じて、「道の駅」の第3ステージの取組を支援。



「道の駅」と関係省庁等による合同会議



個別の相談対応

- 第3ステージでは、「**まちづくりの拠点となり、道の駅とまちが一体的に発展**」していくことが重要ではないか。
- 道の駅の取組が**集客機能**だけでなく、**地域価値を体現する場**や**地域との連携**といった**まちづくりの拠点性(まちづくり機能)**を持つことで、**まちと計画的につながっていくことができる**のではないか。
- これらの**取組を各道の駅で深化させ、事例となる取組を全国に共有**していきたい。

【取組が具体化している事例】

